

## 初産のおくれたニワトリの管理

初産のおくれたニワトリについては、出来れば1羽ごとに体重測定を行って、体の各部を調べ、病気かどうかを検査する。貧血のものは回虫、条虫等の内部寄生虫のうたがいがあるから、ふんを検査して駆虫薬を与えます。発育が極めておくれ、当分の間産卵の見込みのないものや、種々の異常により将来産卵の期待出来ないものは淘汰します。又白血病のうたがいがあったり、ループにかかって重症のものも適当に淘汰します。やや発育のおくれたものは別飼いとし、小群に分けて管理すると、発育や産卵の開始が幾分早くなります。

管理面では、鶏舎の乾燥、彩光をよくし、通風換気は気温の変化に応じて適度におこないます。

飼料は、発育、体重のおくれている時は大すう用飼料を与え、状況によって小麦、トウモロコシ等の穀類を与えて体軀の充実をはかります。

体重があってもトサカが小さく、産卵開始の徴候のないものには、産卵鶏用の飼料を与えます。飼料の給与回数も幾分増して、1日に1回くらいは飼料に水を少し加えて全部食べてしまうようにします。又まき餌を与えて摂取量の増加につとめます。緑餌は1羽 40g程度支え、強壯剤として、ニラ、ニンニク、トウガラシ等を適量与えると効果があります。又状況によっては、点灯すると効果があります。